

第9回 小学校再編に関する地域住民説明会（和田島小学校区） 概要

- 日 時 : 令和元年 11 月 8 日（金） 19 時開始
- 場 所 : 和田島小学校体育館
- 参 加 者 : 76 名
- 教育委員会 : 小野寺教育長 他 8 人
（事務局）
- 内 容 : 1. 開 会
2. 教育長あいさつ
3. 教育委員会職員紹介
4. 配布資料確認
5. 説 明
① 学校再編の目的
② 学校再編の具体的方針
③ 検討プロセス
④ 今後の進め方
6. 質疑・応答（意見交換）
7. 閉 会

地域・保護者等から出された主な意見と回答

○和田島小学校は1校だが具体的な実施とはどういうことか。他校は小学校が寄ってくるというのがあるが、第4段階で具体的に和田島小学校はどういうことをやるのか。

→（回答）

和田島小学校敷地の令和6年度から令和11年度まで6年間を想定して最初の2年間は学校施設をどうするか。令和6年度、7年度と基本設計、実施設計を行い、令和8年から11年まで4年間かけて施設を整備していく。改修で使えるものは改修、できないものについては新たに建設していくという方向で考えている。実際どこをどう残してというのはまだこれから。

○和田島の住民の生活を考えると核となる施設が必要である。東も北も海に囲まれた岬である。西は陸続きであるが、行き止まりの陸の孤島である。核がなくなれば地域は崩壊する。地域が崩壊しないように核として和田島小学校を置いていただきたいと思う。南海トラフ地震とか、台風時の避難場所として、和田島小学校の体育館や学校というのは是非必要となる。

○2段階目以降の再編については見直す場合があると記載されているが、2段階目以降となると児安小学校・和田島小学校で1校のみの学校となるが、どういった場合に見直されるのか。

→（回答）

今お示しさせていただいているこの案を進めていきたいと思っている。市の予算は学校の予算だけでなく、教育委員会で想定していないことが起こるということもあり、こういう書き方をさせていただ

ている。

○皆さん気になっているが、基本的にはこの4校でよほどのことがない限り、市の財政は今でも十分悪いと思うが、このままでいくという認識でよいか。

→ (回答)

基本的には教育委員会ではそのように考えている。

○和田島小学校は古く、築60年がくるが、原則改修となっているが、使える場所は使うのか。

→ (回答)

コストの面で2校案が最も安くなるが、通学の安全性であるとか総合的に勘案した結果、経費はかかってしまうが4校案で出させていただいている。建設時期が違うものもあり、そのあたりを有効活用できるのであれば、建設費も抑えられるメリットもあるので、こういう表記をさせていただいている。

○複合施設となるような説明をいただいたが、保育園であったり、お年寄りも集まれるような施設になればいいと考えている。町内に過ごしやすい場所がないので、そういう面でも配慮いただいて、いい施設にしていきたい。

○検討プロセスができあがったのはいつか。今年になってからか。

→ (回答)

実施計画(案)は、平成30年12月に基本計画ができ、それを元に今年度当初からこの案を作成していた。

○以前の計画のときには、和田島小学校というのが単独で残っているという計画であったのか。4校案に決定されたのだが、3校案を見てみると南小松島小学校、新開小学校、和田島小学校となっているが、この案は1年以上前にもあったのか。

→ (回答)

この案については基本計画をもとに今年度作成したものである。当初2校案で進めていたが、1.8kmの円の外側の方は基本的には通学支援を行わなければならないという想定のもと、通学支援の割合を計算してみると、2校案の場合は全体では36%の方だが、新開地区に南部地区の方を集めた場合は54%の方、半数以上の方に通学支援が必要になってしまうという結果が出た。徒歩で通学できる方が最も多くなるよう考え、総合的に4校案を選んだということ。

○去年の今頃までは和田島小学校が存続できるというところまではいっていなかったということになるか。

→ (回答)

基本計画のときは3校程度ということで、今年度に入って検討した結果、最終的には4校案が最も妥当なのではないか、ということで今回お示しをさせていただいた。

○今回集まっている和田島町民の皆さんにとって和田島小学校の存続が一番大事なことであって、いつ

頃そのような具体的な方向になったかということを知りたいわけ。今年度になってからこのような具体的な案が出てきたというように解釈してよいか。

→ (回答)

はい。

○前回のときは和田島が単独で云々という話しはなく3校だと説明があったが、3校から4校にしているだけ、特に和田島は残ったなあ和我々としては有難いと思っている。2030年に和田島小学校の児童数が144を推定していると資料の中に書いている。現状、和田島小学校は181名だと私は記憶しているが、181名が現在通学をしておると。144はどういう基準か。和田島小学校が令和6年度からやろうかということで順番がついている。市の財政が広報を見ても大まかなことしか分からない。今、令和元年なので5年後に和田島校区をしようかと計画の中に入っている。なぜ、令和3年度から始まっているのに、2年先から始まる校区と5年先から始まる校区という分け方をしたのか。

→ (回答)

和田島小学校の2030年度時点での児童数の推計だが、全体が1,125人、和田島小学校が144人。この推計については平成23年度から平成28年度までの3月末の住民基本台帳の年齢別の人口をもとに、5年間の人口動態や死亡率、平成29年3月末以降の年齢別人口を推計して、0歳児についてはまだ生まれていないので、15歳から49歳の女性の推計人口と平成27年度の合計特殊出生率1.45という数字によって推計している。建設の予定で、なぜ和田島が最後かということだが、複数の学校が再編となる小学校を優先するという形で、南小松島小学校敷地と、新開小学校敷地を第1段階、第2段階とさせていただいた。本来であれば、その4校を一度にできるのがいいと思うが、財政状況などでなかなか1度に全ては難しいのではないかとということで、基本計画の方で2030年度の再編を目途にしていたので、その期間内で全てが完了できるように、今回計画をさせていただいている。

○これから世間でも騒がれている地震等が必ずくると言われている時代に和田島というのは平坦なところで、逃げるところが全然ない。この順番は人数が多い、少ないというので順番を決めたのか。

→ (回答)

まず、複数小学校が再編されることを優先ということで第1段階、第2段階。第1段階の施設がかかってから2年後には児安小学校、南部でいうと新開小学校がかかってから2年後に和田島小学校とさせていただいている。

○この計画の順番というのは変わらないのか。

→ (回答)

基本的には今まだ、地域住民説明会がこれからもあるが、それぞれ意見もあると思うが、今こちらで考えているのはこの案である。

○教育で合理化をするのは大反対。出してくれた案は素晴らしいと思う。この案で是非進めてほしい。